# ニホンジカ被害対策に関する現地検討会(その②)行いました

令和元年 10 月 25 日
広島北部森林管理署

広島北部森林管理署では、喫緊の課題となっているニホンジカ被害対策について、民国連携してニホンジカの捕獲に取り組むことを目的として、10 月 24 日、安芸高田市、安芸高田市有害鳥獣捕獲班連絡協議会と広島北部森林管理署の 3 者によるシカ被害対策推進協定を締結しました。

今回の締結を記念して、同日の午後、安芸高田市甲田支所において「国有林におけるシカ被害対策」テーマに検討会と罠の実演を行いました。

現地検討会の様子

現地検討会には、有害捕獲班メンバーのほか、広島県、関係市町の林務・獣害担当者、森林組合、島根県から一般の方を含め、総勢 50 名の参加がありました。

はじめに、近畿中国森林管理局から「シカ被害対策の現状と課題について」、広島北部森林管理署から「近畿中国森林管理局におけるシカ被害対策について」の説明に続き、四国森林管理局森林技術・支援センターの鷹野所長から、四国森林管理局が独自に取り組んでいる小型囲い罠「こじゃんと 1、2 号」について、詳細な説明がありました。

真剣に聴く参加者の皆さん

その後、会場を甲田支所の駐車場に移し、ニホンジカの餌を食べるときの習性を利用した「小林式くくり罠」と、四国森林管理局が独自に開発した「こじゃんと２号」の設置実演を行いました。

参加者からは、「くくり罠、小型囲い罠の耐久性は、どれ位なのか」、「ニホンジカだけに対応した罠なのか」などの意見がありました。

四国局森林技術・支援センターの設置実演

広島北部森林管理署では、今回の協定締結、現地検討会を契機として、更に民国連携してニホンジカ捕獲に取り組んでいきます。